

生命環境学部・大学院医工農学総合教育部
生命環境学専攻この一年（令和3年4月～令和4年3月）



令和3年4月

■4月5日（月）入学式及び新入生ガイダンスを開催

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、本年度も入学生が一堂に会する入学式は開催されず、学科ごとに分かれ、入学式及び新入生ガイダンスが実施されました。

■4月9日（金）令和2年度 生命環境学部学生表彰

生命環境学部では、優秀な成績を収めた学生及びその行為が社会的に高く評価される等、本学部学生の模範となりうると認められた学生に対し、学生表彰を行っています。

令和2年度は、卒業生8名、在校生各学科の成績優秀者各6名、及び活動優秀者1名、計33名の学生が対象となり、表彰式が行われました。

■4月10日（土）新入生オリエンテーションでみそ作り

地域食物科学科では、新入生オリエンテーションで甲州味噌作りをしました。講師の五味洋子さんに手順を教えてくださいながら、4班に分かれてグループ作業をしました。この日仕込んだ味噌は、夏休み明け頃に出来上がる予定です。



■4月30日（金）丹波山村文化財担当 寺崎美紅さんが来訪



丹波山村文化財担当 寺崎美紅さんが地域社会システム学科の菊地研究室・稲田研究室を訪れ、『狼伝承と上る七ツ石山』と『伝承哀話紀行』をご寄贈いただきました。本書は、丹波山村にある七ツ石神社と狼伝承についてまとめられたもので、本学の学生に広く活用してほしいという寺崎さんのご厚意により提供していただきました。

令和3年5月

■5月19日（水）小曲附属農場において地域食物科学科実験（3年生）



山梨大学が育成した新品種候補「ヤマガネブ」の接ぎ木親和性実験で、当日覚えたばかりの接ぎ木法を使い、緑枝を種々の台木に接ぎました。雨の中、カッパを着ての慣れない作業に奮闘中。

■5月24日（月）新森英之准教授が山梨科学アカデミー奨励賞受賞



生命工学科の新森英之准教授が、第26回山梨科学アカデミー奨励賞を受賞しました。この賞は、学術研究、技術開発及び教育等の分野において優れた成果を収め、将来を嘱望される、山梨に関りを有する個人またはグループに対して贈られる賞です。24日（月）にベルクラシック甲府にて表彰式が開催されました。当日は第25回山梨科学アカデミー奨励賞を受賞した、地域社会システム学科の菊地淑人准教授が受賞講演をしたほか、生命環境学域長でありワイン科学研究センターのセンター長でもある奥田徹教授が特別講演をしました。

令和3年6月

■6月4日（金）ブドウ栽培実習

雨の合間を縫って、ブドウの誘引、剪定、笠掛作業を実施しました。マスクをしながらの大変な作業でしたが、ブドウ栽培においては必要不可欠な作業です。



■6月18日（金）生物資源実習

地域食物科学科の1年生による生物資源実習を行いました。プランターに植えた小松菜の収穫や、小曲附属農場で棚栽培のブドウの笠掛けなどを実際に行いました。



5月からプランターで育てている小松菜の収穫。成長の様子を観察します。



ブドウ棚で笠掛作業中。上を向いての作業はかなり大変です。



下は果実遺伝子工学研究部門3年生の学生実験の様子です。

土壌サンプルを採取し、土壌内の細菌の数、病原菌の様子などを調査しながら、微生物の知識を深めます。



ボーリング装置を使いながら土壌サンプルを採集中。3年生になると、1年生の時の学習から広がりが出てきます。



顕微鏡の操作を学びながら、病原菌の観察をしています。

■6月22日（火）新型コロナウイルスワクチンの職域接種開始

本学甲府キャンパス大会館において、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を開始しました。前日にはシミュレーションを行い、医療スタッフのほか受付対応などを行う職員の動線や、接種手順を確認しました。本学教職員、学生、教職員の家族への接種を進めるほか、山梨県立大学、山梨英和大学など依頼があった県内の大学の学生や教職員、山梨県から依頼のあった障害者施設職員らの接種を進めていきます。

令和3年7月

■7月9日（金）日本栄養・食糧学会大会において学生優秀発表賞を受賞

大学院医工農学総合教育部統合応用生命科学専攻生命農学コース2年の石山詩織さん（指導教員：地域食物科学科 望月和樹教授）が、第75回 日本栄養・食糧学会大会において、学生優秀発表賞を受賞されました。

■7月17日（土）・18日（日）観光政策科学基礎実習（富士五湖・北杜）を実施

7月17日（土）・18日（日）にかけて「観光政策科学基礎実習」の一環で、富士五湖地域および北杜地域の視察研修を実施しました。

例年1泊2日で実施していたものを、新型コロナウイルス感染症対策を鑑み、日帰り2日間での実施となりました。

一日目は新倉山浅間公園、富士山レーダードーム館、鳴沢氷穴など富士五湖地域を、二日目は清泉寮、富士見高原リゾート、中村キース・ヘリング美術館などを視察しました。



令和3年8月

■8月4日（水）5日（木）山梨県下高校生への公開授業開催

山梨県の高校生を対象とした公開授業「自然と社会の共生科学」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、多数の高校生に参加いただきました。

オープンキャンパスが中止となるなか、大学の講義に触れる貴重な機会となったようです。



各学科の先生方が、高校生にも理解できるよう工夫して授業をしてくださいました。座学だけでなく、実際に手を動かしながらの授業もありました。

■8月5日（木）凍結乾燥した精子を薄いシートで保存することに成功

大学院医工農学総合教育部の伊藤大裕さん（大学院生）、大学院総合研究部発生工学研究センターの若山照彦教授らの研究グループは、凍結乾燥したマウスの精子を薄いプラスチックシートに挟んで保存することに初めて成功しました。この成果は Cell の姉妹紙、iScience に掲載が決まっただけでなく、雑誌側が独自に行う海外プレスリリース論文にも選ばれました。

■8月7日（土）地域社会システム学科でオープンキャンパス（オンライン）開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により中止になったオープンキャンパスに変わるものとして、地域社会システム学科では、同日オンラインでオープンキャンパスを開催しました。

当日は午前、午後各30名ほどの方にご参加いただき、チャットによる質問も多数寄せていただきました。

令和3年9月

■9月28日（火）令和3年度秋季学位記授与式を挙行

甲府キャンパスにおいて令和3年度秋季学位記授与式を挙行し、学部生4名、修士課程10名、博士課程6名、計20名に学位記が授与されました。



授与式では、島田眞路学長が卒業・修了する学生の代表に学位記を贈呈し、「様々な領域に於いて周囲の要請に応えられるよう、学習努力を継続していただきたいと思います。大学で得た知識や、先生、友人、海外の文化と人との出会いは人生の宝になります。また、コロナ禍の難局を経験したことも力となり、明るい未来が必ず開けるはずです。地域で、日本で、そして世界で活躍することを心より祈念します」と式辞を述べました。また、留学生に対し英語でスピーチし「母国と日本との友好の懸け橋になることを期待しています」と激励しました。

■9月28日（火）山梨大学学業成績優秀者表彰式

甲府キャンパスにて、令和3年度山梨大学学業成績優秀者表彰式が行われました。今年度は、生命環境学部4名、教育学部3名、工学部7名、医学部4名、計18名の学生が表彰されました。

式では島田眞路学長が代表学生に表彰状を贈呈し、「今後ますます精進し、グローバル社会のリーダーとして大いに活躍し、地域社会の更なる発展に貢献されることを期待しています」と激励しました。

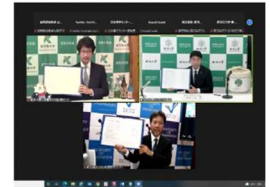


島田学長、奥田学域長と生命環境学部の表彰者の皆さん

■9月30日（木）「ワイン・焼酎・日本酒」3大学センター連携協定を締結

本学大学院総合研究部附属ワイン科学研究センターは、新潟大学日本酒学センター及び鹿児島大学農学部附属焼酎・発酵学教育研究センターと「ワイン・焼酎・日本酒」3大学センター連携協定の調印式を挙行了しました。

調印式では、奥田 徹 ワイン科学研究センター長が「ワイン・焼酎・日本酒は同じ酒類ですが、それぞれ醸造方法が異なります。今後は3大学が合同で学生の教育に協力していき、学生が各分野の酒造りの知識を学ぶことにより、各大学の教育・研究の発展を期待しています」と今後の3大学の連携活動への決意を述べました。



オンライン調印式の様子

令和3年10月

■10月17日（日）「日本ワインセミナー」開催

大村智記念学術館大村記念ホールおよびオンラインの同時開催にて「日本ワインセミナー」を開催しました。このセミナーは世界レベルとなった日本ワインを、銘醸地レベルに引き上げるための取り組みを一般にも広く紹介するために本学が開催したものです。今年是对面とオンラインとを合わせて、約170名が参加しました。

乙黒美彩本学ワイン科学研究センター准教授と田村隆幸シャトーメルシャン勝沼ワイナリー長の講義のあと、田村氏の解説のもと4種類のシャルドネワインのテイスティングをしました。



乙黒美彩准教授



田村隆幸シャトーメルシャン
勝沼ワイナリー長



テイスティングの様子

■10月30日（土）日本微生物生態学会 優秀ポスター発表賞を受賞

日本微生物生態学会第34回大会にて、大学院修士課程生命環境学専攻 地域環境マネジメントコース1年の森下陽介さん（指導教員：田中靖浩 准教授）が、優秀ポスター発表賞を受賞しました。

森下さんの発表タイトルは「精密ろ過膜と水生植物ウキクサを利用した難培養性細菌群 Verrucomicrobia 門細菌の集積」です。この研究で得られた成果は、未知の微生物資源を獲得する方法の開発につながるものとなっています。

令和3年11月

■11月5日(金)～7日(日) 梨甲祭「Build up again」を開催

今年度の第18回梨甲祭「Build up again」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を鑑み、本学学生・教職員のみでの参加とし、開催されました。学生による模擬店や各サークルの展示のほか、各種ステージ企画はオンライン配信されました。



大盛況な模擬店



展示:鉄道研究会



展示:華道部

■11月13日(土) 地域食物科学科にてオープンキャンパス開催

地域食物科学科では13日(土)にオープンキャンパスを開催しました。第一部と第二部の2回、学科説明・ミニ実験・保護者向け説明会・スタンプラリー等を行いました。各地より多数のご参加をいただき終えることができました。



■11月16日(火)「男女共同参画学術研究奨励賞」表彰式

男女共同参画学術研究奨励賞とは、本学に所属する、優れた研究成果を挙げた女性研究者に贈られるものです。生命環境学域からは、博士課程統合応用生命科学専攻生命農学コース2年の石山詩織さん(指導教員:地域食物科学科 望月和樹教授)、修士課程生命環境学専攻食物・ワイン科学コース2年の森山綾音さん(指導教員:地域食物科学科 鈴木俊二教授)の2名が表彰されました。

■11月25日(木) 第一回 日本の酒シンポジウムを開催

「酒縁～ワイン・焼酎・日本酒～日本の酒の未来へ」と題し、新潟大学・鹿児島大学・山梨大学によるシンポジウムが開催されました。2021年10月に締結された3大学の連携協定の活動の一環で、新潟大学を本会場とし、オンラインで開催されました。



■11月27日(土)・28日(日) 観光政策科学実習を下呂にて実施

地域社会システム学科で観光政策科学実習が行われました。1日目は妻籠宿と下呂温泉を観光し、下呂温泉観光協会の瀧康会長の講演を聴きました。2日目はエコツアーとして人気の厳立峡の滝めぐりツアーに参加しました。



瀧康会長と記念撮影

令和3年12月

■ 12月8日（水）就職活動座談会開催

生命環境学部および生命環境学専攻（修士）の学生を対象に、就職活動座談会を開催しました。就職活動経験者として、学部4年生と修士2年生、計9名から就職活動についての報告後、下級生を交えて情報交換を行いました。

■ 12月20日（月）醸造みその仕分け作業

4月に1年生のオリエンテーションで仕込んだ味噌の仕分け作業を行いました。自分で作った味噌はまた格別の美味しさだと思います。

みんなで分けて
持ち帰りました。



令和4年1月

■ 1月23日（日）オンラインオープンキャンパス

ZOOMを利用したオンラインオープンキャンパスを開催しました。初めて1月に開催しましたが、多くの高校生や保護者の方々にご参加いただきました。

当日は学科ごとに、教員や学生による学科説明会と個別相談会などを実施しました。

■ 1月27日（木）令和3年度学生表彰 表彰式

本学では優秀な成績を収めた学生及びその行為が社会的に高く評価される等、学生の模範となりうると認められた学生に対し、学生表彰を行っています。

生命環境学部では、生命工学科の大澤太郎さんが社会活動を認められて、生命環境学専攻から、地域環境マネジメントコースの森下陽介さんが学術研究活動にて表彰されました。

令和4年3月

■ 3月7日（月）前期日程合格発表

令和4年3月7日（月）16時より、一般試験（前期日程）の合格発表がありました。合格者番号が掲示されると、自分の受験番号を写真に撮ったり、掲示板の前で記念撮影をしたりする姿が見られました。



■ 3月18日（金）山梨大学卒業式・修了式

YCC県民文化ホールにおいて、令和3年度山梨大学卒業式・修了式を挙行し、学部生804名、専攻科生10名、大学院生280名の計1,094名が卒業・修了しました。式では島田眞路学長が卒業生、修了生代表に学位記・修了証書を授与し、式辞を送りました。



<https://www.les.yamanashi.ac.jp/>